

鳥取北ロータリークラブ Rotary



THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH 2023 ▶ 2024

例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日12:30~13:30

国際ロータリーのテーマ



- ◆ 会長……入江 容子 ◆ 副会長……………水野 治郎
 ◆ 幹事……田村 博信 ◆ 会計……………植田 哲朗
 ◆ SAA……米田由起枝 ◆ 広報・プログラム委員長…田中 英剛

世界に希望を生み出そう

■ 創 立: 昭和36年2月23日

■ 事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

Tel.24-3536 Fax.29-6741

E-mail kitarc@infosakyu.ne.jp http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/



2023年11月14日(火) 四つのテスト・席くじ 第3005回
本日の例会
 ◆ロータリーソング 我等の生業
 ◆卓話 国際奉仕委員長 寺本光孝さん
 ◆献立 100万ドルミール ※11/21休会、11/22里山整備事業

2023年11月28日(火) 第3006回
次回の例会
 ◆季節の歌
 ◆献立 洋食
 ◆委員会事項 入会記念日御祝
 ◆卓話 里山整備事業報告

先週の例会

2023年11月7日(火)

会長挨拶

本日のゲストを紹介します。

聖神社宮司の松田直也さんです。卓話を楽しみにしています。

11月に入ったと言うのに夏日の気温です。この異常さに地球温暖化を実感しているこの頃です。

十数年前ぐらいから、ヨーロッパ旅行が暑さで大変だった思い出があります。

スペイン旅行でジブラルタルへ行った時、ジブラルタルはイギリス領のためパスポートの提示が必要でした。ジブラルタルは大西洋と地中海を挟むような位置にあり、通行税をとるのには絶好の位置にあります。現在はおこなわれていません。

ジブラルタルはアッパーロック（岩山）の意味からきた名前です。岩山の中には広い洞窟があり

コンサートが開ける広さでとても涼しくほっとした記憶があります。アッパーロックには野生の猿であるバーバリー猿がおりヨーロッパではジブラルタルのみ生息しているとのこと

海側では大西洋側から吹く風と地中海側から吹く風があり、大西洋側から吹く風の時はアフリカ大陸が見えます。

私たちが行った時にも大西洋側から強い風が吹き、アフリカ大陸がこんなに近いのかと驚くほどはっきりと陸地が確認できました。

アフリカ大陸モロッコにはスペイン領の町があり、その町も確認することができました。

会長挨拶の後、米山奨学生郭さんと蔣さんに米山奨学金が渡されました。

幹事報告

- 1 到着文書 特になし
- 2 例会変更・メイクアップ情報 特になし
- 3 その他連絡事項
 - ・里山整備の出欠をお願いします。たくさん出席ください
 - ・11/19(日)に東部5RCでポリオ募金を行います。10:30~アクシスバードスタジアムにて、次週募金BOXを回します。
 - ・11/9(木)事務局休み

委員会事項

- ◎出席率報告
11月7日 会員47名中 出席33名 出席率 70.21%
- ◎社会奉仕委員会（千金委員長）より
11/22(水)に里山整備事業を行います。今年度は鳥取市三山口の湖南学園です。
たくさんのご参加をお願いいたします。
- ◎植田会計より
10月よりインボイスが始まり、クラブとしてインボイス取り扱いの説明がありました。
- ◎誕生日御祝
野田英明さん 秦野諭示さん 入江容子さん 堀いづみさん

メイクアップ

11/ 6 高知北RC 田中英剛さん

スマイル報告

(本日12,000円 累計 312,555円 前回 300,555円)

入江容子さん 聖神社宮司、松田直也さん本日の卓話楽しみにしています。

水野治郎さん 大変忙しい毎日を送っております。いよいよ次年度の準備に取り掛かる時期となりました。会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

田村博信さん いよいよカニのシーズン到来。今年の鳥取県漁獲割当量は増加とのことですが、値段のほうは・・・。

植田哲朗さん 聖神社宮司、松田直也さん本日の卓話ありがとうございます。本日の日本海新聞の“楽しい仲間”に出して頂きました。

森下泰年さん 聖神社の松田宮司様。毎年会社の年頭祈願でお世話になっていますが、お話を伺うのは初めてです。本日はよろしくお願い致します。早退2件

※2大御祝(本日6,000円 累計52,000円 前回46,000円)

入江容子さん

野田英明さん 誕生日

秦野諭示さん

卓話

「神社よもやま話」

聖神社 宮司

松田直也さん



聖神社の宮司をさせて頂いている松田です。昭和31年生まれで申年です。皆さんの顔を見ますと、同級生やら青年会議所時代の仲間が沢山おられまして、この鳥取北ロータリークラブで社会奉仕や親睦を深めておられることに感謝をさせて頂いていただきます。

今日は神社のことなどを話してみたいと思います。私自身聖神社の宮司とはいえ市内の他の神社の宮司も兼務しています。神社の数は大変多くありまして、一人の神主が数社持っているのが現状です。私も7~8社持たしていただいています。

神社の数は全国で8万近くありましてコンビニエンスストアが約5万7千ですからかなり多いです。鳥取県下で871社、その内旧鳥取市には法人格を持った神社が129社あります。これには町内の稲荷神社とかは含まれておりません。明治になって多くの神社の合併がありましたので昔はもっと多かったようです。

今日お集りの皆さんは、ほとんどが仏教徒の方だと思います。宗派やお寺はそれぞれだと思います。神社は地域とともにあります。私の聖神社は

鳥取県内でも範囲が広く、小学校区では日進、明德、扶桑、遷喬、醇風の5校区を範囲としています。

昔は聖神社の町内は44町内でしたが現在は42町内となっております。その中で200数十年前からお祭りをしております。戦前は記録によると60基ほどの山車・屋台があったとされていますが、昭和27年の鳥取大火でほとんどの山車・屋台が焼失してしまいました。その後、復興し14の山車・屋台が神輿を中心にして2年に1回の祭り(聖大祭)をしています。

私どものご先祖さんは、とても古く弥生時代に遡ります。一か所にとどまらない狩猟時代から後期になって、稲作が始まり一定の土地に定住することが始まりました。そこから家族、大家族、いろんな人々が集まり始め村、地域が出来てきました。農作物ができるには土地が必要で、豊かな水、当然お天道様が必要になります。この自然の豊かな恵みを充分頂いておりますが、この恵みも毎年のように、台風とか地震とか日照りとかの大きな災害があり人々を苦しめるわけです。そこで私たちのご先祖様は、その村の中に祈りの場、感謝の場、そういった場所を作ったのが神社の始まりではと思っています。

今、皆さんは神社というと立派な建物をイメージされますが、昔は祠のようなものだったと思います。今の神社がこうして大きくなったのは、仏教の伝来が大きく影響しています。仏像だったり、大きな建物が作られることで神社も大きな建造物を作るようになったと考えられます。

私たちの先祖は自然の岩、木、山、水や太陽の一つ一つのものに力が宿るといふ思いで、それを大事にし、そこに神を感じたのが日本人の心だと思います。色々なものに祈りを捧げ感謝をすることが今日につながっていると思います。

日本には四季があり、その四季には一つ一つの行事があります。お祭りをを行い、自然の恵みに感謝しお祈りをしております。古くから受け継いだ行事をするとともに生活をしていけたらという思いです。

神社では「地縁」という事を大事にしております。仏教の方もキリスト教をはじめ様々な宗教の方、子供から大人まで地域の中で一つになる。これが神社の祭りです。古くから続いたものを次の時代につながるよう皆様のご奉仕をお願いするのです。是非とも聖神社へもお参りをさせて頂けたらと思います。本日はありがとうございました。

(担当 植田哲朗)